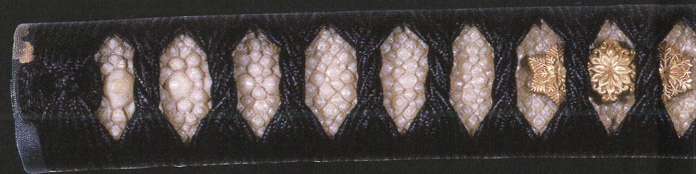
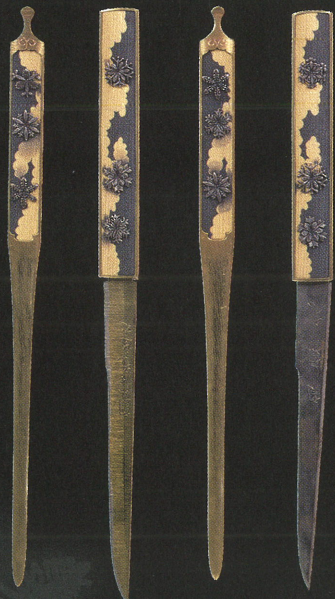


# 雪華の刀装



土井利位の愛刀と工人たち

2025年3月15日 [土] ▶ 5月6日 [火]



開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 3/17(月)、4/7(月)、4/14(月)、4/21(月)

4/24(木)、4/25(金)、4/28(月)、4/30(水)

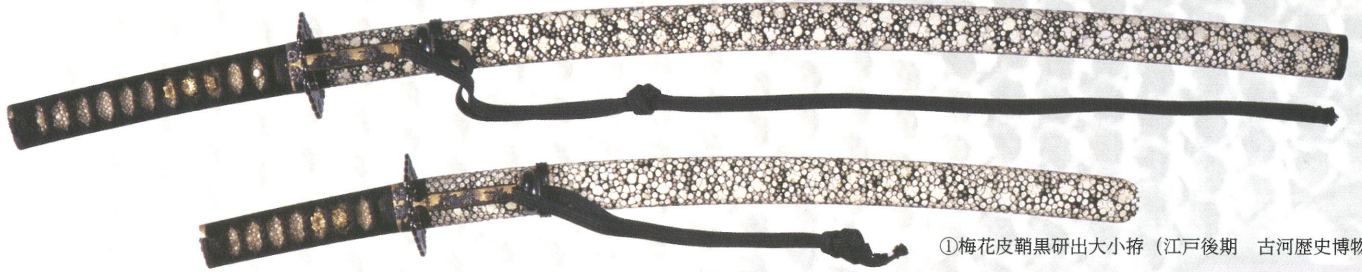
入場料: 一般 400円 (団体20名以上 300円)、小中高生 100円

※展示品は変更になる場合がございます

古河歴史博物館 検索



古河歴史博物館

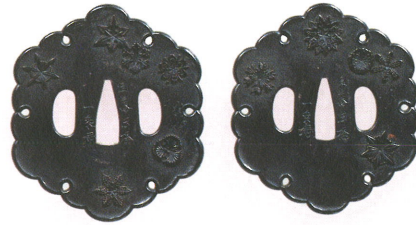


①梅花皮鞘黒研出大小拵（江戸後期 古河歴史博物館）

天保3年(1832)に出版された『雪華図説』は、古河城主で天保改革期に幕府老中をつとめた土井利位(1789-1848)が20年以上の歳月を費やして観察・研究した成果で、8年後の続編とともに日本最初の雪の結晶観察図鑑として高い評価を得ています。同時に利位は、みずから観察した雪華に美を見出して工芸品に取り込み江戸文化に新しい流行を生み出しました。利位の発信した新しい雪華という意匠は、やがて江戸の庶民にまで受容されていきます。

ところで、土井利位が直接手がけた雪華ブランドの品々は、そのほとんどが関東大震災や太平洋戦争で被災し失われたものの、奇跡的に雪華模様をモチーフに製作された刀装具と大小の刀一式が戦前に売り立てられて伝わりました。古河の歴史・文化に深い関わりを持つこの文化遺産は、2024年3月に古河市の所有となりました。利位自らの監修により誕生したこの作品は、高い技術を有する名工が厳選されて完成した唯一無二の逸品といつて過言ではありません。

土井利位が魅了された雪華の世界、その意匠を高い技術力によって表現した工人たちの優品をご鑑賞くださればさいわいです。



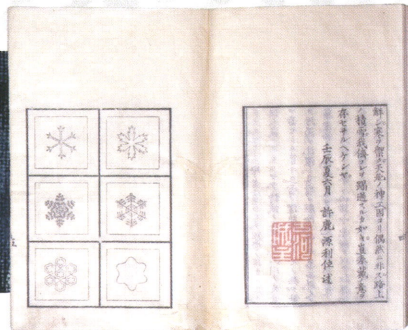
②雪華文鐔 後藤一乗（天保12年〈1841〉古河歴史博物館）



④雪華文時絵印籠 原羊遊斎  
(国重文 鷹見泉石関係資料 古河歴史博物館)



③雪華文小柄・拵（江戸後期 古河歴史博物館）



⑥『雪華図説』 土井利位（古河歴史博物館）

## 雪華の刀装 土井利位の愛刀と工人たち

2025年3月15日[土] — 5月6日[火]

### ●記念講演会

4月19日[土] 13:30~

歴史博物館研修室

『固山宗次と後藤一乗』(仮)

久保恭子氏

(元日本美術刀剣保存協会

刀剣博物館事業課長・専門学芸員)

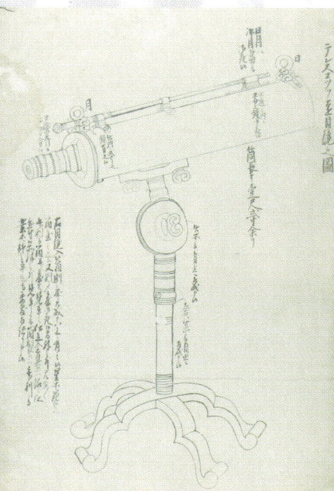
※詳細が決まりしだい、HP等で公開します



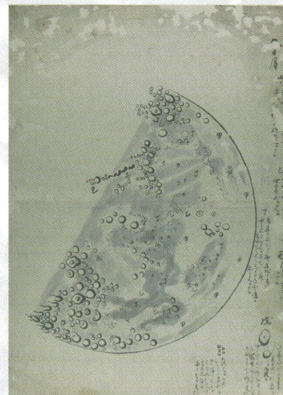
⑤土井利位像（正定寺蔵）



⑧反射望遠鏡 国友一貫斎  
(国重文 上田市立博物館蔵)



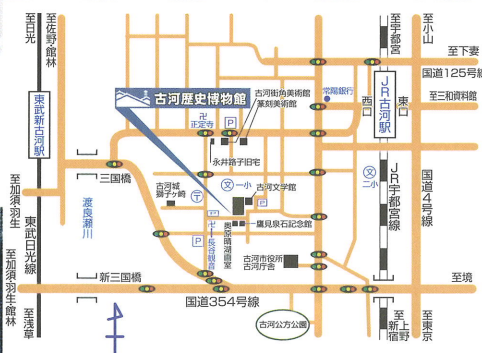
⑦テレスコップ遠眼鏡之図  
(国重文 個人蔵 国友鉄炮ミュージアム写真提供)



⑨月面観測図  
(国重文 個人蔵 国友鉄炮ミュージアム写真提供)



⑩雪華図大小鐔 後藤一乗  
(天保14年(1843) 根津美術館蔵)



開館時間：9:00~17:00（入館は16:30まで）

休館日：3/17(月)、4/7(月)、4/14(月)、4/21(月)、4/24(木)、4/25(金)、4/28(月)、4/30(水)

入場料：一般 400円（団体20名以上 300円）、小中高生 100円

### ●交通

電車：JR宇都宮線 古河駅より徒歩15分

東武日光線 新古河駅より徒歩20分

車：東北自動車道から

久喜IC 県道さいたま栗橋線→国道125号線→国道4号線

加須IC 国道125号線→国道4号線

羽生IC 県道羽生栗橋線→県道加須北川辺線→国道354号線

館林IC 国道354号線

古河歴史博物館

〒306-0033

茨城県古河市中心町3-10-56

TEL 0280-22-5211

